

平成 25 年度第一種電気工事士実技試験を振り返って

大半の受験者が問題を見られて「ラッキー」と思われたと思います。聞きますと、試験開始直ぐに作業された受験者が多かったそうです。これが一つの落とし穴だったと思います。毎年のことですが、諸版の解説と異なる箇所がありました。

変圧器の一次側のキップ線の接続箇所、二次側線輪のわたり線と三相出力線の接続箇所、スイッチとロに入れ替わりがありました

今回の変圧器の施工条件は図示されていたので、作業に入る前に、落ち着いて施工条件等を充分認識された受験者にとっては、至れり尽くせりの問題説明だったと思います。

昨年からの特徴として、「余りの電線がほとんど無い」ということが今回も挙げられます。したがって、先ず、「わたり線」を確保した後、他の配線作業をする必要があるようです。

また、ジョイントボックス内の接続しろを 15cm 取ると、他の配線が少し窮屈になるようです。やはり、無端子ジョイントボックスと同じように接続しろを 10cm とするのが良策と思われます。候補問題の内容を理解されていれば、出題問題程度のアレンジには充分対応できたものと思います。